

いつか、きつと、この場所で会おう
 ～南久米小学校閉校～

大洲市立南久米小学校が、長い歴史に幕を閉じました。4月から児童たちは、大洲小学校に通うことになりました。今月号では、3月24日(日)に行われた閉校記念式典の様子と、児童たちの思いをお届けします。



南久米小学校は、宇和島方面へ進む国道56号から、少し山あいにあった自然豊かな場所にあります。

創立は明治25年で、これまで3763人もの児童がこの学校で学び、卒業していきました。

閉校記念式典で、上甲健南久米小学校長は、地域への謝意を示すとともに「南久米の素晴らしいところは、地域が一丸となって本校教育振興のために、ご尽力いただいたところなんです。子どもたちは、地域と一体となった教育環境の中で、のびのびと育ってくれました。この経験をもとに、大洲小学校でも自己表現力を存分に発揮してもらいたいと思います」と述べました。

また、梶原敬一郎南久米小学校統廃合準備委員会委員長は、「思い出の小学校が閉校となるのは、残念で複雑な思いです。次世代を担う子どもたちにとって、最善の形となるよう、地域を挙げていろいろな意見を出し合ってきました。これまでの協議に携わっていただいたみなさんに、感謝を申し上げます。

今日の閉校は、南久米に住むみなさんが、知恵を出し合った結果です。今後、地区行事のあり方や施設の老朽化など、さまざまな課題がありますが、これまでと同

様、皆で知恵を出し合って、地域活性化につなげていきたいと思えます。

統合先の大洲小学校では、子どもたちの受け入れに万全を期してもらい、感謝しています。子どもたちも多くの友達をつくるように頑張ってください。私たちも伝統ある南久米のためにがんばります」と謝辞とともに、決意の言葉を述べました。

その後、児童たちは、季節ごとに思い出を振り返りながら、長年過ごしてきた母校への感謝と、お別れの言葉を発表しました。





2



3



4



5

- 1 学校の敷地内にある校訓の碑
- 2 式典では、学校長から教育委員会委員長に、校旗が返納された。
- 3 感謝の言葉を述べる児童たち
- 4 最後となる校歌斉唱
- 5 閉校記念碑を見つめる児童たち

たくさんの思い出を
ありがとう



南久米小学校5年(取材時)
泉 昂陽さん

南久米小学校には、思い出がたくさんあります。特に、フィールドワーク遠足は、校舎内のいろいろな場所を回り、クイズを解いたり、人形の体重を当てたり、とても楽しかったです。

学校がなくなるのは寂しいし、大洲小学校に通うには、期待と不安があるけど、新しい友達をたくさんつくって、早く仲良くなりたいです。

ここで学んだことを、
これからもずっと忘れない



南久米小学校5年(取材時)
平塚 春華さん

南久米小学校では、屋上が一番のお気に入りの場所で、お弁当を食べたり、理科で空を観察したり、楽しい時間を過ごすことができました。

慣れ親しんだ小学校と離れることは寂しいけど、大洲小学校でもいっぱい友達をつくりたいです。いつかまた、南久米小学校でみんなと遊ぶことができたらいいなと思います。

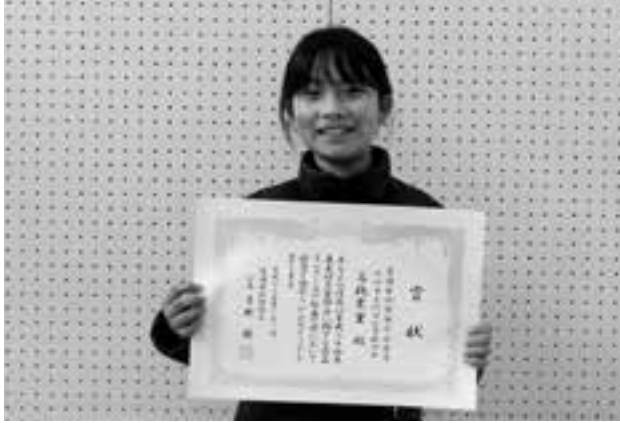
南久米小学校 校歌

松の香におう 札掛の
桜花咲く 校庭に
清くやさしく 肩組んで
まことの道を つとめあう
わが南久米
わが南久米小学校

平成24年度 土砂災害防止に関する作品コンクール表彰

国土交通省と愛媛県では、小・中学生のみなさんに土砂災害およびその防止についての理解と関心を深めてもらうため、毎年「土砂災害防止に関する作品コンクール」を開催しています。

平成24年度のコンクールで、大洲市からは次のみなさんが入賞し、表彰されました。



【小学生・絵画部門】

愛媛県砂防協会会長賞

高橋 茉里^{まり}さん(河辺小学校4年)



【小学生・絵画部門】

国土交通事務次官賞

永井 香音^{かのん}さん(平小学校3年)

※学年は、作品作成時のものです。



長年にわたるアルミ缶回収活動を行い、特に顕著な取り組みがあったとして、徳森保育所がアルミ缶リサイクル協会から感謝状を贈呈されました。

徳森保育所では、園児の保護者たちが各家庭から出るアルミ缶を持ち寄り、リサイクルに取り組んでいます。

徳森保育所でのアルミ缶回収活動は、20年以上も続けられていて、今回が初めての表彰になります。

保護者を代表して感謝状を受け取った向井知美^{ともみ}さんは「地域での取り組みが、今回の評価につながったことは、今後の励みになります。

日々の積み重ねを大切に

（アルミ缶表彰 徳森保育所）



ます。子どもたちには、幼い頃から資源の大切さを学んでもらいたいです」と受賞の感想を話しました。

また、徳森保育所の矢野笑加^{えみか}所長は「この活動は、地域のみならずと協力して行ってきました。これからも、回収活動を通して、子どもたちにリサイクルの大切さを教えていきたいと思えます」と、地域への感謝とともに、今後の抱負を述べました。

アルミ缶リサイクル協会では、毎年、アルミ缶回収優秀校の表彰を行っています。



3月10日(日)

これからもよろしくお祈いします ～卒業・進級おめでとうの集い～

白滝小学校体育館で、恒例の「卒業・進級おめでとうの集い」が行われました。

白滝小学校の児童、保護者、教職員、地域の有志など総勢65人が参加したこの行事では、初チャレンジとなる「リアル野球盤」と「餅つき」をして親睦を深めました。元気良く活動を行った後にはみんなで集まり、卒業を間近に控えた6年生たちとの別れを惜しんでいました。



3月9日(土)・10日(日)

癒しの空間を演出しました ～オオズキャンドルナイト～

オオズ☆ロケット団主催の「オオズキャンドルナイト#4～大洲城 華と灯りの宴～」が大洲城で開催されました。

このイベントでは、約2万個のキャンドルが見物客を出迎え、暖かな光の中で、臥龍太鼓や着物道中、ファッションショーなどが行われました。

2日間で7,000人を超える見物客が訪れたこのイベントは、大洲の新しい観光行事になりつつあります。



3月17日(日)

昔懐かしい「ベイゴマ」で熱戦 ～ポコペンまつり～

ポコペン横丁でポコペンまつりが開催され、第4回ベイゴマ大会が行われました。

市外の小学生や外国の人からエントリーがあり、ベイゴマを加工しない初心者クラスと、ベイゴマの加工ができる上級者クラスに分かれ、白熱した試合が繰り広げられました。

大会に参加したみなさんは時間を忘れ、夢中になってベイゴマを楽しんでいました。



3月10日(日)

日頃の成果を披露しました ～第26回文化芸能発表会～

肱川風の博物館で、大洲市文化協会肱川支部による「平成24年度第26回文化芸能発表会」が開催されました。

当日は、各種団体による民謡・吟詠・舞踊・太鼓などの発表のほか、書道・俳句・写真などの作品が展示されました。また、発表会終了後にはお楽しみ抽選会も行われ、参観したみなさんは、普段あまり触れることのない芸能の世界を満喫していました。